

教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価報告書（令和元年度分）

津久見市教育委員会

はじめに

教育の政治的中立、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図る目的で、平成 27 年 4 月 1 日から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正されました。これにより、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が設置されるとともに、すべての地方公共団体に「総合教育会議」が位置付けられました。

新教育委員会制度では、市長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化するとともに、総合教育会議を市長が招集することにより、市長が教育行政に果たす役割が明確になりました。このように、教育委員会制度が新しくなったことで、地方公共団体としての教育施策に関する方向性が明確になったといえます。

本市教育の基本理念としては、本市には豊かな自然や歴史・文化・産業、世界的に稀な地質資源など多様な資源があります。これらを次の世代に受け継ぎ、さらに魅力的な地域として発展していくことを目指し、郷土への愛着や誇りを持ち、グローバル化の進展に対応するため、生涯を通して学び続けることが必要です。

そのために、学校と家庭・地域が一体となった教育環境の中で、生きる力の基盤となる確かな学力の育成「知」を核として、心の豊かさを育む「徳」、体育・健康教育「体」の調和を基本に捉えるとともに、ふるさとを愛し、自ら学ぶ意欲と活力に満ちた津久見っ子の育成を図っていきます。また、生涯の各期に応じた多様な学習機会を提供し、地域の伝統文化の伝承や芸術・スポーツ活動等を通して、心豊かなひとを育てるまちづくりを推進します。

本報告書の作成の目的は、平成 20 年度に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を実施することが義務付けられたことを機に、教育委員会で「津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針」を定め、事務の管理及び執行の状況について、「第 5 次津久見市総合計画前期基本計画進ちょく状況に係る意見交換会」を活用して報告書を毎年作成することで、問題点の把握及び解決に努めることと認識しています。教育委員会の事務事業について、より一層ご理解を深めていただくものであることを希望するとともに、「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」となるために更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

津久見市教育委員会

目 次

I	点検・評価にあたって	
1	津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針	・・・ 4
2	点検及び評価報告書の作成	・・・ 5
3	教育委員会の組織	・・・ 5～ 6
4	教育委員会の開催状況	・・・ 6～ 7
5	総合教育会議の開催	・・・ 7
II	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価	
1	施策の体系	・・・ 8～ 9
2	各施策の点検及び評価	
(1)	学校教育の充実	・・・ 10～21
(2)	社会教育の充実	・・・ 22～25
(3)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	・・・ 26～27
(4)	青少年の健全育成	・・・ 28～31
(5)	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	・・・ 32～35

I 点検・評価にあたって

1 津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、津久見市教育委員会が実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、次のとおり行うものとする。

(1) 評価の時期・対象

毎年度、教育委員会が前年度に実施した事務事業において、下記(2)の①及び②の項目について点検・評価を行う。

(2) 点検・評価の項目

① 津久見市総合計画における教育委員会所管項目の「施策」について点検・評価を行う。

ア テーマ毎に「施策の方向」を設け、「計画内容及び主要な施策」ごとに当該年度の具体的な実施状況を点検・評価する。

イ 当該年度の進捗状況を目標値と比較し、AからEまでランクを付けて評価を行う。

② その他、教育施策上の重要課題

(3) 点検・評価の指標

点検・評価を行うにあたっては、津久見市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会委員による同意見交換会の知見を活用するものとする。

(4) 点検・評価のスケジュール

- ・2月 当該年度事務のマネージメントシートを更新（自己点検・評価）
- ・3月 市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会による点検・評価
- ・6月～7月 報告書の作成
- ・8月 教育委員会定例会で報告書を決定（議決）
- ・9月 市議会に報告、公表

(5) 市議会への報告、公表について

① 市議会への報告

教育委員会が決定した点検・評価の報告書は、市議会に提出するものとする。

② 公表の方法

点検・評価結果の報告書は、市議会に提出した後、教育委員会のホームページで公表する。

(6) 点検・評価結果の反映

点検・評価結果については、教育行政に適切に反映させ、教育行政の運営の効率化及び質の向上を図るものとする。

(7) その他

点検・評価の項目、報告書の様式、市議会への提出（報告）の方法等については、各教育委員会が実情を踏まえて決めることになっているため、市議会や委員会、市の意見を参考にしながら随時改善していくこととする。

2 点検及び評価報告書の作成

平成 28 年 3 月に策定された「第 5 次津久見市総合計画」（平成 28 年度～令和 7 年度）に掲げる基本計画第 2 章「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」第 1 節学校教育の充実、第 2 節社会教育の充実、第 3 節スポーツ・レクリエーション活動の推進、第 4 節青少年の健全育成、第 5 節地域文化の伝承と芸術文化活動の充実にかかる事務事業ごとに、令和元年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施する。

(1) 記入方法

- ① 施策名・・・総合計画の「施策名」を記入する。
- ② 施策の方向・・・総合計画の「施策の方向」を記入する。
- ③ 計画内容及び主要な施策・・・総合計画の「計画内容及び主要な施策」を記入する。
- ④ 課題等・・・昨年度から引き続き課題等となっているものを記入する。
- ⑤ 取組状況等・・・実際に行った取組状況等を記入する。

(2) 施策指標の評価

目標値に対する進ちょく状況の「評価」を次の区分により記入する。

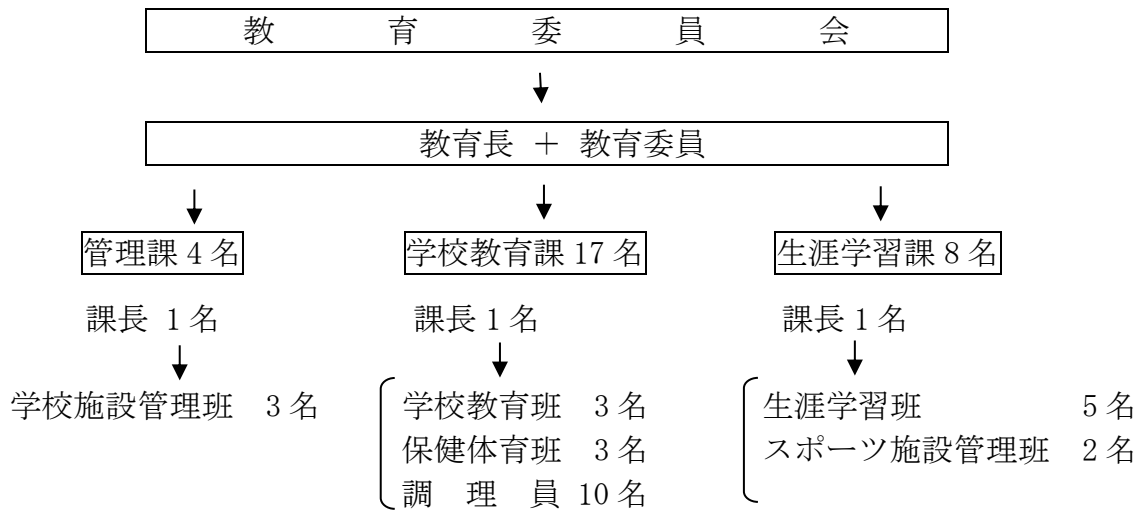
- A：目標値に達成した（100%）
- B：概ね目標値に達成した（100%未満～75%以上）
- C：目標値に達成してない部分がある（75%未満～50%以上）
- D：ほぼ目標値に達成してない（50%未満～25%以上）
- E：全く目標値に達成してない（25%未満）

3 教育委員会の組織

(1) 教育委員会委員

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	平山正雄	平成 25 年 11 月 9 日	平成 29 年 11 月 9 日 ～令和 2 年 11 月 8 日
教育長 職務代理	金田貞喜	平成 27 年 10 月 1 日	令和元年 10 月 1 日 ～令和 5 年 9 月 30 日
委員	佐藤裕子	平成 28 年 12 月 7 日	平成 28 年 12 月 7 日 ～令和 2 年 12 月 6 日
委員	高司龍二	平成 28 年 12 月 7 日	平成 28 年 12 月 7 日 ～令和 2 年 12 月 6 日
委員	深井辰海	平成 30 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日 ～令和 4 年 9 月 30 日

(2) 教育委員会体制



4 教育委員会の開催状況

期 日	議 案 等
4月25日 (定例会)	議案第1号 津久見市離島児童・生徒通学費助成事業補助金交付要綱の制定について 議案第2号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第3号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
5月25日 (臨時)	津久見地区教科用図書選定委員会設置要綱について
5月27日 (定例会)	議案第4号 津久見市スポーツ施設設置条例の一部改正について 議案第5号 津久見市使用料条例の一部改正について 議案第6号 津久見市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について 議案第7号 津久見市民会館の設置及び管理に関する規則の一部改正について 議案第8号 津久見市公民館条例の一部改正について 議案第9号 津久見市民図書館管理運営規則の一部改正について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
6月26日 (定例会)	議案第10号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第11号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
7月25日 (定例会)	議案第12号 津久見市外国語指導助手任用規則の一部改正について 議案第13号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第14号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第15号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第16号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について
7月29日 (臨時)	津久見市小学校教科用図書の採択について

8月26日 (定例会)	議案第17号	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
9月25日 (定例会)	議案第18号 協議	予算の補正について 第一中・第二中統合計画（素案）の地区別説明会
10月25日 (定例会)	継続協議	第一中学校・第二中学校統合についての協議
11月25日 (定例会)	議案第19号 継続協議	成人式のあり方について 第一中学校・第二中学校統合についての協議
12月25日 (定例会)	継続協議	第一中学校・第二中学校統合についての協議
1月23日 (定例会)	継続協議	第一中学校・第二中学校統合についての協議
2月25日 (定例会)	議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 継続協議	令和2年度当初予算案の概要について 津久見市立学校文書取扱要綱の一部改正について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 津久見市立学校小規模特認校就学の許可について 津久見市立学校小規模特認校就学の許可について 第一中学校・第二中学校統合についての協議
3月25日 (定例会)	議案第32号 議案第33号 議案第34号 継続協議	公立学校の教育職員の在校等時間の上限等の関する方針（案）について 津久見市学校運営協議会規則の一部改正について 津久見市スクールソーシャルワーカー設置規則の一部改正について 第一中学校・第二中学校統合についての協議

5 総合教育会議の開催

期 日	協 議 事 項	開催場所
9月2日	津久見市の社会体育、部活動の在り方について (今後の展望) 1. 社会体育の現状と今後の在り方について 2. 運動部活動の現状と今後の在り方について	津久見市教育委員会 2階会議室

出席者：市長、教育長、教育委員4名

II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

1 施策の体系

施策名	計画内容及び主要な施策	施策指標	担当課	シートNo.
学校教育の 充実	確かな学力を育む教育の 推進	指導者用端末の整備	管理課	1-1-①
		児童生徒 1 人 1 台端末の整備	管理課	1-1-②
		校内 LAN の整備	管理課	1-1-③
		全国学力調査 平均正答率との差（小学校）	学校教育課	1-1-④
		全国学力調査平均 正答率との差（中学校）	学校教育課	1-1-⑤
	健やかな体を育む教育の 推進	体力・運動能力調査 小学生全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-①
		体力・運動能力調査 中学生全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-②
	豊かな心を育む教育の推 進	人権・同和教育研修会開催回数	学校教育課	1-3-①
	地域とともにある学校づ くり	学校・家庭・地域の「協働」に取り 組む学校数	学校教育課	1-4-①
	社会教育の 充実	学習機会の創出	公民館利用状況	生涯学習課
公民館教室数			生涯学習課	2-1-②
市民に愛される図書館づ くり		蔵書貸出数	生涯学習課	2-2-①
学術交流活動の推進		地質資源の講演回数	生涯学習課	2-3-①
スポーツ・ レクリエー ション活動 の推進	生涯スポーツ・レクリエ ーションの推進	総合型地域スポーツクラブ参加人数	生涯学習課	3-1-①
	競技スポーツの強化推進	施設利用者数	生涯学習課	3-2-①
青少年の健 全育成	健全な家庭環境づくり	非行少年等の補導件数	生涯学習課	4-1-①
	学校教育と連携した地域 ぐるみの育成活動	子ども連絡所設置箇所数	生涯学習課	4-2-①
		土曜寺子屋つくみ塾	生涯学習課	4-2-②
	青少年の見守り活動の充 実	学校支援ボランティア数	生涯学習課	4-3-①

地域文化の 伝承と芸術	市民の文化・芸術活動の 支援	観劇会イベント参加者数	生涯学習課	5-1-①
		市民会館利用状況	生涯学習課	5-1-②
文化活動の 充実	伝統文化及び文化財の保 存と継承	文化団体数	生涯学習課	5-2-①
	文化施設の有効活用	指定文化財	生涯学習課	5-3-①

2 各施策の点検及び評価

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-①

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
A	指導者用端末の整備	台	—	50	—	プログラミング教育やICTを活用した学習活動のための指導者用端末の整備を行う。

2. 課題等

○プログラミング教育やICTを活用した学習活動の実施

令和2年度から実施される「新学習指導要領」において、プログラミング教育が必修化される。児童生徒がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動に加え、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施するため、学校のICT環境整備を図る。

3. 取組状況等

○プログラミング教育のための指導者用端末の整備

令和2年度から実施されるプログラミング教育やICTを活用した学習活動の充実に向け、各学校へ指導者用タブレットの整備を行った。また、タブレットを効果的に活用した授業ができるよう教職員の指導力向上を進めていく。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-②

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
E	児童生徒1人1台学習用端末の整備	台	—	—	200	GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備を行う。

2. 課題等

○GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備

令和元年度12月にGIGA スクール構想が発表され、このGIGA スクール構想は、小中学校において「1人1台の学習用端末」と「高速大容量の通信」を令和5年度までに一体的に整備することを目指している。児童生徒の情報活用能力を育てるとともに、情報手段を適切かつ主体的に活用できるようICTを活用した情報教育の充実を図るため、1人1台の学習用端末整備や普通教室における無線LANの整備等計画的な学校のICT環境整備を図る。

3. 取組状況等

○児童生徒1人1台学習用端末の整備

新しい学習指導要領の実施に伴い、小中学校では学習用端末の整備が必要とされる。さらに、GIGA スクール構想により1人1台の学習用端末が求められていることから、1人1台の学習用端末の整備の早期実現を進めていく。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-③

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進捗状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
E	校内LANの整備	校	—	—	7	高速で安定したネットワークの整備を行う。

2. 課題等

<p>○GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備</p> <p>令和元年度12月にGIGA スクール構想が発表され、このGIGA スクール構想は小中学校において「1人1台の学習端末」と「高速大容量の通信」を令和5年度までに一体的に整備することを目指している。児童生徒の情報活用能力を育てるとともに、情報手段を適切かつ主体的に活用できるようICTを活用した情報教育の充実を図るため、1人1台の学習端末整備や普通教室における無線LANの整備等計画的な学校のICT環境整備を図る。</p>

3. 取組状況等

<p>○校内LANの整備</p> <p>動画教材を利用した授業やプログラミング教育など大量のデータ通信を必要とし、一度に多くの児童生徒が利用することから、より高速で安定したネットワークの整備が求められている。</p> <p>そこで、市内のすべての小中学校でネット環境が整備できるよう、計画的に校内LANの整備を進めていく。</p>

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-④

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
D	全国学力調査平均正答率との差 (小学校)	%	(国語) A-0.7 B+2.3 (算数) A+5.5 B+4.5	(国語) -0.8 (算数) -2.6	全国平均値を上回る	A問題（知識）とB問題（活用）の区別がなくなった。 国語、算数とも全国平均値を下回った。

2. 課題等

- 学力向上支援教員ならびに習熟度別指導推進教員の公開授業に全教員が2回以上参加できた。
- 児童による授業評価を行う学校が増えてきた。
- 「授業改善5点セット」に基づいた授業改善の取組が、組織的かつ計画的に取り組めていない。
- プレートの活用が、児童生徒に「めあて」や「課題」を意識させるものとして、十分に機能できていない。
- 低学力層を対象とした放課後学習等の取組を行ってきたが、十分な成果につながっていない。

3. 取組状況等

- 学力向上支援教員等を中心とした、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり。
- 市の学力向上に係る研修会の充実。
- 先進地視察による授業改善に向けた意欲喚起。
- 小学校における、低学力層を対象とした補充学習の取組の徹底。
- 津久見小学校の教科担任制の拡大（3～6年）
- 授業改善のための児童生徒による授業評価の実施
- 市独自の学力調査の実施（小1～中2） ➡ ※ 結果は15ページ

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-⑤

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
D	全国学力調査平均正答率との差 (中学校)	%	(国語) A-3.1 B-5.2 (数学) A-1.1 B-8.9	(国語) -4.8 (数学) -2.8	全国平均値を上回る	A問題(知識)とB問題(活用)の区別がなくなった。 国語、数学とも全国平均値を下回った。

2. 課題等

- 授業規律および学習規律等に学級差が見られる。
- 低学力層に対する課外学習等の組織的な取組が十分でない。
- 主体的で対話的な深い学びにつながる授業実践がまだ十分とは言えない。
- 活用問題に必要な力（読解力、情報分析処理能力、説明力）の獲得に課題がある。
- 個別指導を充実させる必要がある。

3. 取組状況等

- 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底。
- 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築。
- 「生徒と共に創る授業」の推進。
- 問題解決的な展開の授業の実践。
- 習熟度別指導教員の公開授業への2回以上の参加。
- 全国学力・学習状況調査B問題を取り入れた授業実践。
- 習熟度別指導の推進。
- 補充学習と定期的な放課後個別指導の実施。
- 低学力層に向けた具体的な取組と検証・改善。

◆平成31年（令和元年）度の取組の検証（資料1）

1 平成31年（令和元年）度の学力の状況

① 平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率）

	小学校 6年		中学校 3年		
教科	国語	算数	国語	数学	英語
市町村	63	64	68	57	51
大分県	67	67	74	61	55
全国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0

② 平成31年度大分県学力定着状況調査結果（偏差値）

教科	国語		算数		理科 小5					
	知識	活用	知識	活用	知識	活用				
市町村	52.7	53.3	53.5	55.5	53.8	51.9				
大分県	52.1	51.6	52.2	52.1	52.2	51.3				
							※大分県は市町村立学校の数値			
教科	国語		社会		数学		理科		英語 中2	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
市町村	51.5	50.2	50.8	49.4	51.3	50.2	48.0	49.0	50.4	50.7
大分県	51.8	50.5	50.5	50.3	50.7	50.6	50.9	50.5	50.3	50.3

③ 令和元（平成31）年度 津久見市学力調査結果

小学校	R2.1.10 実施											
学 年	小1国	小1算	小2国	小2算	小3国	小3算	小3社	小3理	小4国	小4算	小4社	小4理
全 国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
津久見市	54.1	54.6	50.9	53.3	52.9	55.4	53.5	52.0	52.7	53.9	51.4	52.3

学 年	小5国	小5算	小5社	小5理	小6国	小6算	小6社	小6理
全 国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
津久見市	53.1	52.1	50.7	48.3	51.4	53.7	51.2	48.6

全国偏差値を上回った教科

中学校											
学 年	中1国	中1社	中1数	中1理	中1英	中2国	中2社	中2数	中2理	中2英	
全 国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
津久見市	52.4	52.7	54.0	53.8	52.9	50.5	50.8	52.5	47.3	51.4	

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-①

	担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実	
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>③ 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
C	体力・運動能力調査 小学生全国平均以上の割合	%	50.0	47.9	60以上	達成できていない。 学年・男女によって能力に差がある。

2. 課題等

○児童生徒・学校質問紙調査結果			
	小学生(5年)	男子	女子
	運動が好き	69.8% ◎	60.8% ◎
	体育の授業楽しい	58.5% ▲	56.9% ◎
	体育の授業の目標が示されている	57.7% ◎	60.8% ◎
○体力の状況についての課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・学年あるいは男女によって体力の状況にばらつきがある。 ・小学校は男女とも 「反復横跳び」「50M」に弱さがある。 ・個々の体力・運動能力データのファイリング。 ・日々の体育の授業を全体に広めるなど、組織的な授業改善への学習が必要である。 			

3. 取組状況等

<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」「振り返り」が明確に位置づけられた授業づくり。 ○子ども同士の学びの場を設定し、運動意欲の向上を図る授業づくり。 ○見合い、教え合い等、児童による主体的な学習展開。 ○運動の日常化を図るための行間体育の実施。 ○体育朝会・リレー大会・全校縦割り班活動など、学校独自の取組を推進。 ○児童会と連携した、児童がつくる活動や行事を計画・実施。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-②

	担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実	
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>③ 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
C	体力・運動能力調査 中学生全国平均以上の割合	%	47.9	41.7	60以上	達成できていない。 運動する子とそうでない子の二極化が顕著である。

2. 課題等

○児童生徒・学校質問紙調査結果

中学生(2年)		男子	女子
運動が好き		74.0% ◎	33.9% ▲
体育の授業楽しい		61.6% ◎	47.5% ▲
体育の授業の目標が示されている		67.1% ◎	62.3% ▲

○体力の状況についての課題

- ・学年あるいは男女によって体力の状況にばらつきがある。
- ・学年差もあるが、成績が前年度より大幅に低下している。(日常の運動習慣に課題あり)
- ・個々の体力・運動能力データのファイリング。
- ・運動をする子とそうでない子の二極化、あるいは適切な運動習慣が身につけていない生徒の増加。

3. 取組状況等

- 「めあて」「振り返り」が明確に位置づけられた授業づくり。
- 運動部活動との連携による、日常的な運動習慣の構築。
- 運動部活動に加入していない生徒へのアプローチ。
- 生徒会と連携した運動好きな生徒を育てる取組。
- 規則正しい生活習慣の構築。(食事・運動・睡眠) ➡ スクールヘルスアップ3年次(最終年)

◆平成31年（令和元年）度の取組の検証（資料2）

平成31年（令和元年）度の指標	達成状況・成果等
達成指標	
○運動好きな児童・生徒の割合	○運動好きな児童・生徒の割合
小学校 男子 90%以上	小学校 ◎男子 91.6%
女子 85%以上	▲女子 84.2%
中学校 男子 90%以上	中学校 ▲男子 84.6%
女子 85%以上	▲女子 75.1%
○調査で全国平均以上の割合	○調査で全国平均以上の割合
小学校 男子 50%以上	小学校 ○男子 50.0%
女子 50%以上	▲女子 45.8%
中学校 男子 60%以上	中学校 ▲男子 41.7%
女子 65%以上	▲女子 41.7%
取組指標1	
○子どもの意欲を喚起するために、体育・保健体育の授業以外で「遊び」や「集団スポーツ」をいかした体力向上の取組を行っている学校の割合を100%にする。	結果：いずれの取組も達成できている。
○体育的行事に向けて、めあてを設定し、達成に向けてのがんばりカードや具体的な練習計画を作成して取組を進める学校の割合を100%にする。	○小中ともに、体力・運動能力等調査結果を活用した「一校一実践」の取組が定着している。
○スクールヘルスアップの取組を、すべての学校に広めるために、各学校で必ずスクールヘルスアップに関する一実践を行う。	○小学校では一輪車・長縄・縄跳び・持久走、中学校では長縄やクラスマッチなど行事に向け、カードや個人記録ファイルなどを活用して取り組んでいる。
	○市内の全学校の全学級で、栄養教諭を中心として、「食習慣」「生活習慣(睡眠)」「運動習慣」の定着を図る指導が進められている。
取組指標2	
○「一校一実践」に、体力・運動能力調査の弱点を克服するための取組を取り入れるよう提案するとともに、体育主任会等で各校の取組について交流する場を設定する。	結果：おおむね達成できている。
○体育専科教員の公開授業、ならびに訪問校での一般授業を、小学校教員は必ず一度は参観する。	○弱点克服を意識して、体育の授業の準備運動として、ゲーム性を意識した運動を取り入れている。また、体育主任会で各校の取組を交流することができた。
	○体育専科教員の授業公開への参加は、不十分であったが、訪問校での授業の際に、担任がT2で参加したり、担任外が参観したりすることができている。
【総括】	
<p>調査結果については、記録を伸ばしている種目と、伸び悩んでいる種目がはっきりと分かれてきている。「反復横とび」克服のための「鬼ごっこ遊び」など、日常の遊びにつながる取組や、例年取り組んでいる持久走大会へ向けての「めあてカード」「がんばりひょう」などが有効であったと総括できる。今後は新たに「柔軟性」や50m走の「走力(短距離)」向上に力を入れていく必要がある。</p> <p>令和元年度で最終年度を迎えたスクールヘルスアップ事業への取組は、「運動習慣」「生活習慣」の見直しについて児童生徒の理解を深めることができたと考えている。今後も、体育専科教員(小学校)・体力向上推進教員(中学校)と栄養教諭・養護教諭との連携を深め、これまでの取組を継続しているよう、新たな体制づくりが必要である。</p>	

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-3-①

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実 (2) 確かな学力を育む教育の推進 (3) 健やかな体を育む教育の推進 (4) 豊かな心を育む教育の推進 (5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	人権・同和教育研修会開催回数	回	5	5	5	人権・同和教育研修会開催回数は5回開催することができた。加えてスキルアップ研修においても研修会を行った。

2. 課題等

- 校内研修での時間の確保。(各種研修会参加者の校内研修での還流、講師派遣研修等の実施)
- 部落問題学習についての認識と実践不足。
- 仲間づくりや学級づくりについて、若手教員のスキルアップ。
- 家庭・地域と連携した人権・同和教育の推進が必要。
- 校内での児童生徒支援委員会の活性化。

3. 取組状況等

- 人権・同和教育研修会開催を計画的に実施するとともに、その充実を図る。
 - ◆人権教育担当者会 3回
 - △管理職研修 1回 → 実施できず ×
 - ◆人権同和教育研究会夏期講演会 1回
 - ◆人権同和教育研究会研究大会 1回
- 部落問題学習・人権学習に必要な書籍・DVDの購入。
- 若手教員研修、スキルアップ研修の実施。
- ハイパーQU(学級集団等適応検査)を活用した学級集団づくり。
- 校内児童生徒支援委員会の開催と充実。
- 専門スタッフの活用。(スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・教育支援センター)
- 大分の部落問題学習(県：人権同和教育課)の効果的な活用を進める。

◆平成31年（令和元年）度の取組の検証（資料3）

いじめ・不登校の現状													
(いじめ認知件数及び解消率等)													
いじめ	小学校					中学校							
	件数	1000人当 たり	いじめの 校数	解消数	解消率	件数	1000人当 たり	いじめの 校数	解消数	解消率			
市町村	29	43.9	2	28	96.5%	15	43.2	0	12	80.0%			
(不登校児童生徒数及び1000人当たりの不登校児童生徒の出現率)													
不登校		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		令和元年度（10月末）	
		人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人当たり
小学校	県	274	4.6人	308	5.2人	282	4.8人	368	6.2人	437	7.3人		
	市町村	2	2.5人	2	2.7人	2	2.8人	1	1.4人	1	1.4人		
中学校	県	957	31.3人	865	28.9人	932	31.2人	975	33.6人	1162	39.1人		
	市町村	23	58.2人	12	30.8人	6	14.6人	6	15.2人	0	0人		

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-①

	担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実	
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>⑤ 地域とともにある学校づくり</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	学校・家庭・地域の「協働」に取り組む学校数	校	7/7	7/7	7/7	各校で、地域と連携した特色ある取組が展開できている。
	市内中学生の津久見高校への進学率	%	39.1	47.5	50.0	令和元年度は、目標値に近づいた。

2. 課題等

- 学校評価の結果をどのように分析し、どのように活用・発展させていくかに課題が残る。
- さらに、課題解決に向けて、学校と家庭・地域とが連携して、どのように取組を進めていくかについても、まだまだ十分に組み立てていない。
- 家庭・地域に主体性を持たせた取組までには至っていない。
- 中学校における家庭・地域との協働と地域人材の活用。
- 生徒数の減少による津久見高校定員の維持・確保の難しさ。

3. 取組状況等

- 学校・家庭・地域の「協働」の柱である「学校運営協議会」の開催（年間3～4回）
- 家庭・地域と連携した各種行事の実施。
- 地域人材を活用した授業実践。（総合的な学習の時間を中心に）
- 地域人材の活用を推進するための地域人材の発掘・育成。
- 各中学校区のコミュニティースクールの連携。
- 津久見高校地域振興協議会での各種取組の実施。
- （ ①人材育成 ②小中高連携 ③情報発信 ④硬式野球部強化 の 各種事業 ）

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-①

		担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実		
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホール企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>① 学習機会の創出</p> <p>② 市民に愛される図書館づくり</p> <p>③ 学術交流活動の推進</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	公民館利用状況	回	1,426	1,322	1,490	大ホール、講義室、研修室、調理室、和室の利用回数

2. 課題等

- 公民館は昭和50年に建設され、建物の老朽化が進んでいる状況。中学校統合に伴い公民館の移転も検討されているが、教育委員会だけで進められるものではない。
- 多くの教室が2階の大ホールであり、階段しかないために高齢者や障がい者の方に不便をかけている現状である。
- 駐車場については狭く、多くの台数が止められない。公民館まつり等大きなイベント時には、近隣の企業に協力をいただき対応はしているが、駐車場の確保が課題である。

3. 取組状況等

- 公民館教室は地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を果たしており、年々自主教室も増加傾向にある。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-②

		担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実		
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホールの企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>① 学習機会の創出</p> <p>② 市民に愛される図書館づくり</p> <p>③ 学術交流活動の推進</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	公民館教室数	回	11	13	15	女性・成人・その他を対象とした、各公民館教室の開催回数

2. 課題等

○高齢者教室等人数が多い教室は、2F 大ホールの使用となり階段しかないために、高齢者や障がい者の方に不便をかけている。

○子どもから高齢者まで、利用者の声を聞いて、各教室の開催を心掛けているが、なかなか教室の幅が広がっていない。(開催時間・開催内容の検討が必要)

○教室を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。

3. 取組状況等

○通年 健康料理教室 男の料理教室 色えんぴつ画教室 パッチワーク教室
パン作り教室 お菓子づくり教室 竹工芸教室

○短期 扇子踊り教室 子ども扇子踊り教室 竹工芸教室 お菓子づくり教室
デジタルカメラ教室 フレスコ画教室 (中・高生・一般) (子ども)

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-2-①

		担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実		
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホール企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 学習機会の創出</p> <p>(2) 市民に愛される図書館づくり</p> <p>(3) 学術交流活動の推進</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	蔵書貸出数 (図書館利用者数)	人	45	44	55	1日当たりの貸出冊数 (1日当たりの貸出利用者数)

2. 課題等

○築20年以上が経過し、改修を必要とする箇所が増えてきている。平成30年度は「外壁・屋上防水改修工事 (平成29年度からの継続)」と「図書館システムの再構築」を実施した。令和元年度は、「館内照明器具のLED化」と「空調設備の改修工事」を行った。令和2年度は「駐輪場の改修工事」を予定している。

また、図書館資料の年間貸出冊数や貸出利用者数はここ数年ほぼ横ばいではあるが、減少傾向にある。市の人口減少やインターネット等の普及など様々な要因が考えられるが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1カ月の臨時休館を余儀なくされた。このように激しく社会が変化する中、利用環境整備と合わせ、図書館サービスを維持・向上するための取り組みが必要となっている。

3. 取組状況等

- 開館時間の1時間延長及び祝日開館の試行
平成31年4月から令和2年3月末まで (祝日開館は令和元年6月～) ※令和2年度も継続実施
- 図書館資料の管理
幅広い資料の収集、不用資料の除籍、除籍資料の無料配布
- 図書館利用の拡大
おはなし会、映写会、図書館まつり、新刊・企画展示コーナー、玄関ホールの展示活用、移動図書館車の運行、保戸島出張所への資料設置、就労情報の掲示
- 県内公共図書館、市内各学校との連携
相互貸借の活用、職場体験学習の受入、市内各学校への団体貸出、子ども司書養成講座への参加
- 広報活動
図書館だより・こどもしつだより、市報、図書館ホームページ、年間行事や特別行事の案内配布
- 施設整備
館内照明器具のLED化、空調設備の改修工事

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-3-①

		担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実		
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホール企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 学習機会の創出 (2) 市民に愛される図書館づくり (3) 学術交流活動の推進</p>		

1. 施策指標の進捗状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
C	地質資源の講演回数	回	8	6	10	津久見の地質等に関する講演会や展示会等、学習機会の提供

2. 課題等

○津久見市には広大な石灰石鉱山を始め、長目の蛇紋岩や四浦の珪石・マンガンなど、多種にわたる鉱物や地質が点在しており、「網代島の宇宙塵」や「江ノ浦の隕石衝突の痕跡」等、世界的にも非常に貴重な地質資源もある。津久見市独自の魅力ある地質資源を教育に取り入れる一方で、地元地区と協力して周辺地域の環境の保全に努めるとともに、地域資源活用事業を推進して市内外に向けて情報発信をしていくことが今後の課題である。

3. 取組状況等

○津久見市内に分布する地質資源全体を取り上げた副読本「津久見の石まるごとガイドブック」を作成した。今後もこの教材を地域での出前講座や体験学習（小中学校理科の授業）等で活用したいと考えている。

○第49回津久見市文化祭では、市民会館で網代島に関する講演会や展示会を行い、市民をはじめとした多くの人に魅力を発信した。

○日代小学校前の地層見学者臨時駐車場に、網代島までの案内図や安全面に関する注意事項、地域資源保護の呼びかけ等を記載した案内板を設置した。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-1-①

	担当課	生涯学習課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。</p> <p>競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 生涯スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>② 競技スポーツの強化推進</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	総合型地域スポーツクラブ参加人数	人	225	230	250	総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」参加人数

2. 課題等

○総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」が各スポーツ教室やイベント事業を通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核として市内全域で展開されることをめざし、地域住民の日常的なスポーツ活動の場づくりを推進することが必要である。

また、「エンジョイつくみ」が地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、さらなる育成とその活動の充実を図ることが必要となる。

なお、スポーツの習慣化・健康増進等を図るため福祉・保健部門との連携が必要となる。

3. 取組状況等

○令和元年度は、16種目を開催し、延べ11,010人の参加があった。新型コロナウイルスの影響で開催できなかった時期があり昨年度より延べ参加者数は減少となったが、体操教室では、徳浦教室・青江教室の2会場であったが、岩屋地区の要望により岩屋教室が追加となり、3会場で実施している。

○津久見市ホームページにおいて、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」の会員募集を広報し支援を行っている。

○平成27年5月から始まった「おはよう！つくみん体操」も累計746日、延べ20,154人の市民参加となっている。（令和2年6月末日現在）

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-2-①

	担当課	生涯学習課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。</p> <p>競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 生涯スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>(2) 競技スポーツの強化推進</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	施設利用者数	人	5,312	4,960	5,250	総合運動公園内の各施設、武道館、市内3グラウンドの利用者数

2. 課題等

○老朽化が進んだ既存施設については、市民の声を反映し緊急性や重要性を勘案しながら計画的に改修整備を進め、利便性の向上を図る必要がある。

○競技スポーツの強化については、津久見市スポーツ協会に加盟する競技団体がそれぞれ競技力・技術力を競う県民体育大会や各種大会に出場し、地域スポーツの振興と発展に寄与するとともに、多様な交流の機会を創出している。また、国民体育大会を始めとする全国のレベルで本市出身の選手やチームが活躍できるよう指導体制の整備を図り、競技力の向上、選手の育成に努めトップレベル競技者の育成を推進するためスポーツ協会と加盟する競技団体とが連携強化を図る必要がある。

3. 取組状況等

令和元年度の施設利用者件数については、新型コロナウイルスの影響で休館の時期があり昨年度より減少となった。

- まちぐるみスポーツ運動
町内対抗ナイターソフトボール大会、バレーボール大会、ゲートボール大会、ペタンク大会等の各種大会の開催。
- 子どもの体力向上啓発事業
県のスポーツ振興基金事業を活用した第4回津久見市スポーツ少年団対抗「アジャタ」競技大会を開催。
- 競技団体の強化
「県民体育大会」については、競技ごとに過去の成績を分析し具体的な目標点と目標順位を示し取り組んだ。成績は、総合14位、C部4位で昨年より順位が一つ下がった。
「県内一周駅伝大会」については、14大会連続最下位から脱出し、総合15位、躍進第1位の成績であった。今後も駅伝選手団に対し競技力向上支援事業を継続していきたい。
- 施設整備
市民野球場漏水修理、武道館雨漏り補修・サッシ補修、武道館弓道場外壁補修を行った。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-1-①

	担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成	
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>③ 青少年の見守り活動の充実</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
—	非行少年等の補導件数	件	2	5	0	津久見市在住の青少年が補導された数

2. 課題等

○津久見市青少年健全育成市民会議を中心に、青少年に関わる大人の意識醸成や地域ぐるみで青少年を見守るための環境づくりを進め、非行少年等の補導件数ゼロを目指していく。

○近年ではスマートフォンやSNSの急速な普及によってインターネット利用環境が一層多様化し、青少年が有害な情報に簡単に触れうる機会も増えている。また、県下ではインターネットを介して見知らぬ他人との接触機会が生じた結果、自撮り被害などのトラブルや犯罪に巻き込まれてしまうケースも出てきている。こうしたネットトラブルやそれに起因する犯罪から青少年を守るためにも、学校・家庭・地域が連携し、インターネットの正しい使い方や通信機器の使用上のルールを呼びかけて徹底するなど、常日頃からの啓発が重要である。

3. 取組状況等

1. イベント時の見守り活動
 港まつりや扇子踊り大会等で、各学校のPTAや幹部交番が見守り活動を実施。

2. 津久見市青少年健全育成市民会議総会
 開催日：令和元年5月21日（火）
 地域で青少年を見守るための取り組みについて、市内の青少年関係団体と確認を行った。

3. 子どもの安全を考える市民講演会
 開催日：令和元年11月12日（火）
 演題：「みんなで考えよう、スマートフォン」
 講師：特定非営利活動法人 企業教育研究会 事務局員 市野 敬介 氏
 参加者：61名

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-①

		担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成		
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>(3) 青少年の見守り活動の充実</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	子ども連絡所設置箇所数	箇所	327	322	380	子どもが困った時にいつでも助けてくれる家庭や店舗・施設等の数

2. 課題等

○地域のどの場所に子ども連絡所があるのかについて、周知の幅を広げて子ども・大人双方に存在を広く浸透させる必要がある。また、子どもが地域でのびのびと育っていけるよう、関係各所と連携して、子ども連絡所として協力していただける家庭や事業所を増やしていくことが必要である。

3. 取組状況等

○津久見市防犯暴力絶滅対策協議会・津久見市連合PTA・津久見市青少年健全育成市民会議・臼杵津久見警察署が連携して取り組んでいる。

※令和元年度の子ども連絡所箇所数 (内訳)

- ・第一中学校区…168カ所 (津久見小、千怒小、第一中)
- ・第二中学校区…146カ所 (堅徳小、青江小、第二中)
- ・離島…8カ所 (=保戸島小)

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-②

		担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成		
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>(3) 青少年の見守り活動の充実</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
C	土曜寺子屋つくみ塾	人	92	85	160	子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指して地域ぐるみで取り組むもの

2. 課題等

○講師(地域ボランティア)の減少により、子どもたち一人ひとりに十分な指導が行き届かない状況が出てきていることが課題である。今後は、新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながらになるが、新たなボランティアを増やすことで、よりきめ細やかな支援ができる体制を整えていくことが課題。また、児童が自発的に継続して参加できるよう、講師と協力して楽しく魅力ある活動環境を整えていく。

3. 取組状況等

対象：津久見市内の各小学校の3～6年生
 実施数：通常の学習支援活動は6回実施(荒天や新型コロナウイルス感染症対策により2回中止)。その他、希望者を対象とした漢字検定・算数検定試験や、体験学習を実施。
 実施日：原則第3土曜日の10:00～12:00
 内容：漢字検定・算数検定のチャレンジに向けた学習
 R1年度は漢字検定90.9%、算数検定85.4%の合格率を達成
 場所：保戸島小学校を除く市内4小学校
 講師：地域住民、大分大学の学生
 体験学習：サイエンスクリエイター「善ちゃん先生」によるサイエンスショー

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-3-①

	担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成	
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>(2) 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>③ 青少年の見守り活動の充実</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
A	学校支援ボランティア数	人	6,487	7,163	3,800	登下校時の交通安全や学校の授業にゲストティーチャーとして参加したボランティアの人

2. 課題等

現在は基本的に地域ボランティアと各学校が直接やり取りすることで活動が行われており、どの学校も支援活動が定着している。今後もボランティアの安定した参加を目指すとともに、新規参加者を確保することでより充実した支援を目指していくことが課題となる。

また、行政が地域や学校とより連携を深め、地域人材に関する情報や課題を共有していくことも必要である。

3. 取組状況等

令和元年度の市内の各小中学校における学校支援ボランティアの活動内容は以下のとおり

- 登下校安全指導
- 学習支援活動 (国語、理科、社会、外国語、保健体育、音楽、図画工作 (美術)、技術家庭、総合的な学習、生活、読み聞かせ等)
- 部活動指導 (運動系、文化系)
- 環境整備 (施設・備品等の補修や清掃、花壇や植木の剪定)
- 学校行事 (運動系、文化系)

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-①

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。 伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。	
計画内容及び主要な施策	① 市民の文化・芸術活動の支援 ② 伝統文化及び文化財の保存と継承 ③ 文化施設の有効活用	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
E	観劇会イベント参加者数	人	1,380	337	1,600	3月に予定していた「徳永ゆうきコンサート」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、年間を通しての入場者数は例年よりも大幅に減少した。

2. 課題等

○これまでどおりの安価な料金で会員のニーズに合った催し物の選定が求められる一方で、決算時には赤字にならないような料金設定も考える必要がある。また、魅力的な事業を提供することで新規会員の確保を目指していくことも重要である。

3. 取組状況等

- 「ぐっさんのハッピーオンステージ 全国50カ所ツアー presented by 東急リバブル in 津久見」
令和元年10月13日(日) 14:00～市民会館大ホール
入場者数 337名
入場料 3,000円(全席指定)
- 「徳永ゆうきコンサート with 山下靖喬」
令和2年3月15日(日) 14:00～市民会館大ホール
入場料 2,000円(全席指定)
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に延期

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-②

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>② 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>③ 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	市民会館利用状況	件	1,594	1,443	1,600	会議室やホール等、会館の利用件数

2. 課題等

○令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月4日から休館したことで利用件数が減少した。新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、施設利用者に少しでも安心して利用していただくための対策を講じていく。

また、市民会館は平成27年度から平成30年度にかけて大規模改修を行い、エレベーター・トイレ・駐車場等が利用しやすくなったものの、改修をしなかった箇所等の修繕が多くなってきている。

3. 取組状況等

○平成30年度から文化協会加盟団体等に対して使用料減免制度を設け、利用者が利用しやすい会館づくりに努めている。

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-2-①

		担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>② 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>(3) 文化施設の有効活用</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
B	文化団体数	団体	31	31	35	市文化協会加盟団体数

2. 課題等

○人口減少に伴い、会員の高齢化と若年層の団体活動が希薄になっており、会員の減少が進んでいる。

○活動のPRや広報を通して、個人・団体会員の拡大と、新たな分野の芸術文化活動の充実や「青少年、次世代の支援」と文化に触れる機会の提供などが必要。

3. 取組状況等

○市文化協会は令和2年に設立50周年を迎えるために、会員の区分を個人、賛助会員を新たに設け、組織強化と拡大を図る。

○令和元年度は市民文化祭を中心に、各団体の発表会やボランティア活動に取組み、市内外で延べ42団体(25回)の活動が報告されている。(総会資料 事業活動実績から)

令和元年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-3-①

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>(2) 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>③ 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	H30年度	R1年度	R2目標値	説明等
A	指定文化財	件	34	34	30	R1年度の新たな指定文化財はなし

2. 課題等

○文化財については、ひとつの文化財を単独で捉えるだけでなく、歴史・民族・自然などを地域の中で位置づけ、総合的なものの中で見ていくことが重要視されており、これまで地域の文化財マップ等を設置してきた。今後も地域の文化財や自然を総合的に捉える取組を継続していくことが重要。また、少子化や高齢化、社会環境・生活環境の変化で価値観が希薄になり、維持、保護が困難になりつつあるため、指定文化財を中心として管内の文化財の現状を把握し、保護に努めることが重要。

○伝統芸能については、少子高齢化の進展に伴った後継者不足により保持団体の維持が困難になっているので、後継者の育成が重要課題。また、用具や衣装等の購入のための資金調達のむずかしさもうかがえるため、保持団体と協議しながら順次助成に向けた取組を継続していくことが重要。

3. 取組状況等

○文化財 ・看板設置 (深良津の蛭子像の誘導標と案内板、中田鍛冶屋天満社イヌマキの案内板、保戸島海徳寺魚鱗塔の誘導標と案内板)

○伝統芸能 ・令和元年度伝統文化親子教室に堅徳子供伝統文化教室、津久見こども伝統文化教室、千怒子供伝統文化教室、津久見いけばな子供教室、日見区盆踊り保存会が採択。

・令和2年度伝統文化親子教室事業 (文化庁) に津久見扇子踊り保存会が申請し、採択されている。